

23. 高齢者福祉施設での訪問活動

グループ名 大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会
代表者 松本 勉

1. 活動の目的

高齢者の増加に伴い認知症者も増加の一途である。その多くは高齢者福祉施設にて生活している。認知症に対する認識は家族や高齢者福祉施設での認識と一般者の認識にはかなりの隔りがある。認知症になったら何もわからず、人生もそれまで!!という認識は一般の人では珍しいことではない。彼らは物は忘れていますが、感情は残っている。うれしいことはうれしい。いやなことはいや!!笑顔が出る心の状況。

本グループは、この認知症者の心の癒しと笑顔を取り戻すために、歌体操を媒体として交流する活動を行うことを目的とする。

2. 活動概要

活動は

- ① 高齢者施設での歌体操ボランティアの実施
- ② 中央研修会の実施
- ③ 地区研修会の実施

に大別される。

大阪府下 14 市で活動を展開して高齢者福祉施設へのボランティア活動は年間 300 回以上の出勤実績がある。高齢者が増加し、施設での歌体操の出勤依頼は増加しているが、ボランティアの高齢化に伴い、ボランティア要員の減少があり、その要請に応えることができていない。そこで歌体操ボランティアの養成を目的とした、中央研修会に重点を置いた活動を展開した。

中央研修会で習得した技能を各地区に持ち帰り、地区でのボランティア養成の活動を展開した。その結果が徐々に効果をもたらし、歌体操のボランティア予備軍が増加している。

今回の貴事業団のシニアボランティア活動助成金はこの歌体操ボランティア養成を目的とした中央研修会に充当し、結果として高齢者施設での歌体操ボランティア活動が充実する結果が残せた。

活動実績 平成 24 年 11 月～平成 25 年 8 月

高齢者福祉施設での活動…14 市合計 354 回 ボランティア参加者 延べ 840 人

中央研修会 10 回 参加者延べ 315 人

地区研修会 14 市合計 70 回 参加者 延べ 1500 人

活動の明細

この活動に参加した地区各市

- ①大阪市②吹田市③高槻市④茨木市⑤池田市⑥豊中市⑦箕面市
⑧門真市⑨守口市⑩松原市⑪堺市⑫羽曳野市⑬藤井寺市⑭河内長野市

中央研修会 実施体制

推進 活動支援部 部長 木場昭和子

専任講師 加藤昌子 藤川安高

特別講師 小桐 剛

会場 大阪市生涯学習センター

3. 決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	100,000
収入	自己資金	143,500
支出	ボランティア養成交通費補助 200円×316人	63,200 (助成金充当)
	研修会会場費	36,800 (助成金充当)
	講師料 10,000×12人	120,000 (自己資金)
	歌体操機材購入	23,500 (自己資金)
合計		243,500

大同生命厚生事業財団助成金による活動 写真報告

大阪府シルバーシルバーアドバイザー連絡協議会

高齢者福祉施設での歌体操ボランティア
(松原市)



高齢者福祉施設での歌体操ボランティア
(豊中市)



歌体操ボランティア養成
中央研修会 (大阪市)



歌体操ボランティア養成
中央研修会 (大阪市)



歌体操ボランティア養成
地区研修会 (吹田市)



歌体操ボランティア養成
地区研修会 (門真市)

